

会員のひろば

■ シルバー人材センターの臨時職員として働いて

僧坊 伊藤利雄



♪入会の動機：定年退職後、今まで勤めていた時間をどうすれば有効に使うことができるのかと漠然とした不安があり、何かできることがあるのではないかなという思いでシルバー人材センターに入会しました。

♪臨時職員として：入会の翌年、シニアワークプログラム事業担当として、平成22年精華町都市緑化協会から引き継ぐことになった緑化事業担当として、臨時職員に採用していただきました。その後、順次担当範囲を広げ、約2年半前、8年弱勤めた臨時職員を退きました。

♪ミッション車の運転：軽トラックの運転は難題でした。シルバー人材センターの軽トラックはミッション車だけです。私は運転免許取得後オートマチックの普通乗用車しか運転したことがなく、まずは300メートルほど運転してみました。これは私には不向きと判断し、引き返しました。以後はあまりスピードは出ませんが軽ワゴン車が私の主な足となりました。

♪講習会の応募者：都市緑化協会時、毎回定員を超える応募者があり、好評を得ていたという年末恒例の寄せ植え講習会を引き継いで開催しました。しかし受講者が少なく、かなりのプレッシャーを感じていました。主催者の名前や会場の影響かとも思い、いろいろ工夫をしながら少しずつ受講者を増やすことができました。

♪得たもの：臨時職員時には上記のほかにもいろいろなできごとがありましたが、その職務を遂行するなかで多くの体験をし、知識を得て、精華町をよく知ることができ、親しみを持つようになりました。これはこれからの私にとって大きな財産になったと思っています。

■ 「もっともっと光をあてる…」

菱田 清水泰律



シルバー人材センターに会員登録をしてもうすぐ8年です。何かすることがあればという気持ちからだったと思います。少しずつですがスポット中心に就業しながら街のボランティア組織にも登録し地域での活動にも範囲を拡げてきました。『シルバーせいか』の記事でふるさと案内人の会を知り入会して7年です。

案内人の会の方と話す機会があり、

「下見や旅の案内をした後は反省会とかもされるんですか？」

「やりますよ～」

「そんな時はちょっと飲みながら…ですか？」

「はい～」

「そしたら入ります！」

入会の動機はそんな会話からです。不純な動機からの入会でしたが一気にのめりこんでいきました。初めて参加した会議でふるさと発見秋の旅の企画内容を知り、次の会議では勝手に作成したポスター案を皆さんに見てもらい…、その時からもう65枚になりました。8月に開催した役場交流ホールでの「町のいいところ展」でふるさと案内人の会の歩みとして展示したポスターは74枚ありました。“ふるさと発見の旅”が22枚、“せいか小さな旅”が52枚。

会場に来られた方から「精華町といえばお千代半兵衛しか頭に浮かばなかったけど、こんなに見るところがあるんですか…」と言われたことが印象に残っています。

その時、観光社会学の先生の「何の変哲もないような場所が、違うところからポンと光をあてることで観光地になる」これが観光の面白いところ。どうやって光をあてる？そこが難しいところ。「光をあてることで観光地になる」といわれたこの言葉を思い出しました。シルバー人材センターからNPO法人として独立して1年、「光をあてる…」もっともっと、です。